



バレンタイン企画

リベルタ新聞



2月13日、バレンタイン企画（IADL訓練）を行ないました。みなさん各々のエプロン・かっぱう着を身にまとい「格好だけではないんです」。器用な包丁さばき・生クリームを自在に操る姿は、「昔とった杵柄」を思わせる巧みな手技でした。甘いチョコレー



2018年
3月1日(木)
リベルタ新聞社
富士市厚原372番地1
ホームページ
<http://www.fujic3.com>
TEL:0545-72-3833

定期連載 俊さんのコラム

「新茶と鼻水」

私は、皆さんにお世話になっている毎日です。お茶をいただくと
思い出すできごとがあります。
5月の終わり頃だったと思います。ベランダに出て、仲間たちと
新茶をいただきました。久しぶりに外気に当たり、少し寒さを感じ
ました。でも、新茶の香りがよく、琴の音色も聴こえ、とても和み
ました。椅子が5脚あり、交代しなければならぬのですが、昔懐
かしい終戦直後の話に花が咲き、時間の経つのも忘れてしまいま
した。

いよいよ交代の時、椅子から立ち上がり際であつたので、バラ
スを崩し、慌てて杖をつかもうとすると、恥ずかしながら、鼻水が
出てしまいました。あいにくティッシュペーパーも見当たらず、慌
てて手で拭いた瞬間、瞬時に私の手をスタッフの方が握って支えて
くださったのです。私は、自分の鼻水を付けた手を握られ、恥ずか
しいやら、感謝の気持ちやらで複雑な思いになりました。その女性
は、驚いて言葉を発することもなく、何事もなかったかのように、
笑顔でした。自分のテーブル席に送られている時、なんて話をして
よいか、わからず黙っておりました。すると、その女性スタッフが、
「転ばなくてよかったですね。」と、言ってくれました。私は、鼻
水をつけてしまったので、申し訳なく、返事が思うようにできませ
んでした。でも、次の日に、彼女にお礼の言葉を言うことに決めて
おりました。

けれども、ついに、「御免ね」とか「ありがとう」とかも伝えら
れませんでした。

毎日、どのスタッフの方々も、私たち一人一人に誠実な対応をし
てくださいます。やはり「仕事のプロ」。上手に感謝の気持ちを伝
えることができない時もあります。今年もデイケアのスタッフの
皆さん、よろしくお願いたします。

